

7.19
thu

七夕えだまめを収穫

5月に、味坂保育園の子どもたちが種をまいた「七夕えだまめ」。七夕神社で豊作祈願のおはらいを受けた特別な黒大豆は、今年もスクスク育ちました。例年より1週間ほど早く収穫時期を迎え、大きく実った枝豆に園児たちは大喜び！採った枝豆は、みんなでおいしくいただきました。

また7月29日(日)には、「七夕えだまめ収穫祭」が開催され、枝豆入りの炊き込みご飯、マフィン、冷製スープなど、創意工夫を凝らしたメニューは大盛況！福を呼ぶ、恋を呼ぶ「七夕えだまめ」は、今後も小郡の食ブランドとして大事に育てていきます。来年もお楽しみに！



7.26
thu

そうめん流しで地域の交流

子どもの居場所作りを行う「下町ふれあい広場」と、高齢者同士の交流の場を提供する「下町ふれあいサロン」が、合同でそうめん流しを行いました。

まず子どもたちが、めんをゆでるための湯沸かしに挑戦。悪戦苦闘しながら、薪割りや火おこしを体験しました。その後、高齢者を交えて、ゆであがったそうめんを手作りの竹筒で流し、夏の味覚を堪能。子どもたちは、「大変だったけどおいしかった」と笑顔を見せました。

※「下町ふれあい広場」は、今年度、市民提案型協働事業に採択されています



8.9
thu

小郡出身の若手刀匠 奈良を拠点に活躍中

奈良で若手現代刀匠として活躍する、小郡市出身の金田七郎國真さんが市長を訪問。平成27年に初出品した「新作名刀展」で、特賞と新人賞のダブル受賞を果たし、刀剣業界で一躍注目を浴びました。

金田さんは、小郡高校2年生の時、市立図書館で偶然手にした師匠・河内国平氏の本が刀匠をめざすきっかけになったとか。「飽き性だった僕が未だに情熱を傾けられる日本刀は、本当に奥が深く面白い。将来市に寄贈できるくらい大きくなって、興味をもってもらえたら」と夢を語ってくれました。

現刀匠の最高位の一人である師の最後の弟子として、名刀誕生に関心が集まっています。



市で初となる利用者を、市長が訪問したときの様子

運転免許証自主返納支援事業 利用者100人突破！

車の運転に不安を感じている高齢者を対象に、市が今年6月からスタートした運転免許証自主返納事業の利用者が100人を超えました。

この事業は、平成30年4月以降に運転免許証を返納した70歳以上の市民を対象に、1万円分のタクシー回数券やICカードを支給するものです。同様の支援は他の市町村でも行われていますが、小郡市の利用者は特に多いそうで、テレビで取り上げられたことも。「運転に自信がなくなってきたかも」という人は、この機会に免許証返納を考えてみませんか。詳しくは総務課防災安全係にお尋ねください。